



6. 【実証プログラム】 「花のABCを伝えるワークショップ」の実施

- ◆実証プログラムの実施概要
- ◆ワークショップ進行マニュアル・花店への送客プログラム
- ◆ワークショップ実施花店レポート（抜粋）

6. 【実証プログラム】花のABCを伝えるワークショップ

◆実証プログラムの実施概要

①全国6エリアの企画検討委員の花店 17店舗

②ワークショップ参加者：323名の花初心者が参加

③ワークショップ参加者の募集：

主催花店が地域の花初心者を独自に集客し、主催花店の近隣エリアに場所を借り、ワークショップを開催。

※地域の新しいお客様を取り込むという考え方から、自店の顧客については、参加者対象外とした。

<集客例>

- * 近隣や取引先の法人企業に従事する女性社員向け
 - ※福利厚生やレクリエーションの一環として提案
 - ※ワークショップは企業の会議室を借用して開催
 - ※市役所等、行政機関の職員を対象にしたケース有り
- * 近隣の保育園、幼稚園の先生や園児の家族向け
 - ※ワークショップは教室を借用して開催
- * 近隣のカフェ、美容室、カーディーラーのお客様向け
 - ※顧客を持つショップや施設へ顧客サービスの一環として

④プログラムの実証評価（アンケート回答298名）

ワークショップ参加者に、ワークショップ体験後、花の交換プログラム体験後アンケートを実施し、「花のある暮らし」への興味度合やホームユース花の購入頻度等について実証評価を行う。

⑤花店への送客プログラム

（来店促進施策／サブスクリプション的花引き換えカード）

ワークショップ参加後6週間、ワークショップ開催店舗に行くと（主に週末の設定）、週に1本、上代500円以内の花をもらい続けることができる、という来店促進施策。専用のスタンプカードをお渡しし記録をしていく。花店サイドは、チェックシートに花プレゼントの履歴を残し、再来店の実績や再来店の頻度などを追う。

